



Title	出会い
Author(s)	恒藤, 晓
Citation	臨床死生学年報. 2003, 8, p. 1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/7364">https://hdl.handle.net/11094/7364</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 出　会　い　、

恒　藤　　暁

当講座教授の柏木哲夫先生が 2003 年 3 月末で退官されます。ご承知のように柏木先生は 10 年間で当講座をゼロから現在の形に築かれました。柏木先生に直接指導を受け、卒業する学部生は 55 名、大学院生は 27 名となります。この 10 年間、多くの素晴らしい研究論文や学会活動が当講座から生まれました。ひとえに柏木先生のご指導の賜物と感謝いたします。

ある人が「よき師、よき本、よき思想との出会いは、私たちの人生を豊かにしてくれる」と言っています。私達の人生における出会いは本当に不思議です。もし私が柏木先生にお会いすることができなければ、全く違った人生を歩んでおり、大阪大学で勤務することはなかったでしょう。これまでの 16 年間、病院、大学、学会参加のための移動中などで、公私にわたり、「人生は出会いで決まる」、「親切は最後まで」、「個人の幸せは全体の幸せにまさる」など格言とも言える、非常に多くのことを教えていただきました。紙面をおかりして改めて心から感謝の意を表したいと思います。「ありがとうございました！」。

柏木先生から直接のご指導を受けたり、ユーモアや川柳など楽しいお話を拝聴したりすることができなくなるのは、講座の全員にとって残念至極であります。しかし、学外でも引き続きお会いでき、指導していただけるものと期待しております。

この臨床死生学年報は、今回で 8 冊目になります。今回も「デス・エデュケーション」、「ユーモアセンス」、「Death Competency」、「気力」、「家族特性」、「重症患者の治療方針」など非常に多岐にわたるテーマに関する研究や論文を掲載することができました。読者の皆様に何らかのご参考になれば幸いに存じます。

これからも、講座の良き伝統を引き継いで、出会いを大切にし、お互いに切磋琢磨し、さらに発展するように 4 月から新体制で一同励みたいと願っています。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

2003 年 3 月  
助教授室にて